

構造形態の解析と創生

Colloquium 2012
Analysis and Generation of Structural Shapes and Systems 2012

日時 .. 2012 年 10 月 25 日 (木) ・ 26 日 (金)

会場 .. 奈良女子大学

記念館講堂 (重要文化財)

・講演論文募集・

構造物の形態を創り出すための理論、技術に関わる研究発表、及びこれに関係する設計や施工などの事例紹介。(既発表のものでも、新たにまとめたものであれば申し込みを受け付けます。構造力学的な手法に限定せず、材料、生産、計画、環境の視点からの構造形態に関するアプローチなど、幅広い内容の発表も歓迎します。)

発表登録 締切 .. 7 月 27 日 (金)

論文提出 締切 .. 9 月 28 日 (金)

・形態創生コンテスト作品募集・

課題 .. 歴史ある地域の固有性に学び

『再生する』かたちを創生する

審査委員 .. 新谷真人

早稲田大学 / オーク構造設計

坂口紀代美

日本美術家連盟会員 / 彫刻家

本間俊雄

鹿児島大学

松川昌平

000studio

特別審査委員 .. 上野邦一

奈良女子大学名誉教授

川口衛

川口衛構造設計事務所 / 法政大学名誉教授

応募登録 締切 .. 7 月 27 日 (金)

作品提出 締切 .. 8 月 31 日 (金)

コロキウム構造形態の解析と創生 2012 開催趣旨

デジタル・ファブリケーション、BIM、アルゴリズム・デザイン、最適化などといった言葉のまわりで繰り広げられる近年の動きにデザインとコンストラクションの間の垣根が取り払われるのではないかと期待を感じる人々も少なくないのではないだろうか。さらに三次元プリンターの出現は新たな産業革命をもたらす予感さえもただよわせている。構造デザインの分野においては、構造物の挙動を予測するための数値計算手法が既に花開き、数理計画法に基礎をおく多くの最適化手法や発見的手法が提案された十数年の以前に「構造形態創生」という魅力的な言葉のもと、現在の本コロキウムの魁となる「コロキウム構造形態の解析と創生」が開催され、この分野のその後の発展に大きな影響を与えた。そして今、パラメトリック・デザインの技術や情報システム技術とも相まって、更に多くの分野の人々を巻き込み、デザインに一種の変質をもたらし、まさに「咲く花の薫ふが如く今盛りなり」といったところである。本コロキウムは、建築に関連する構造最適化手法や構造形態創生、アルゴリズム・デザインやデジタル・ファブリケーションなどに関する最新の研究や設計事例を持ち寄り、研究者と技術者が一堂に会してこれらを発表し議論し情報を交換することによって、そのような期待がただ流行におわることなく、さらに発展し確固とした技術として根付くことを願って天平文化を現前と伝える奈良の地で開催される。

* 詳細や表彰規定などにつきましては、コロキウム構造形態の解析と創生 2012 のホームページ <http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s17> をご確認ください。

主催：日本建築学会

構造委員会 シェル・空間構造運営委員会
構造形態の解析と創生小委員会 応用力学運営委員会
構造最適化の理論と応用小委員会 情報システム技術委員会
アルゴリズム・デザイン小委員会

後援：奈良女子大学